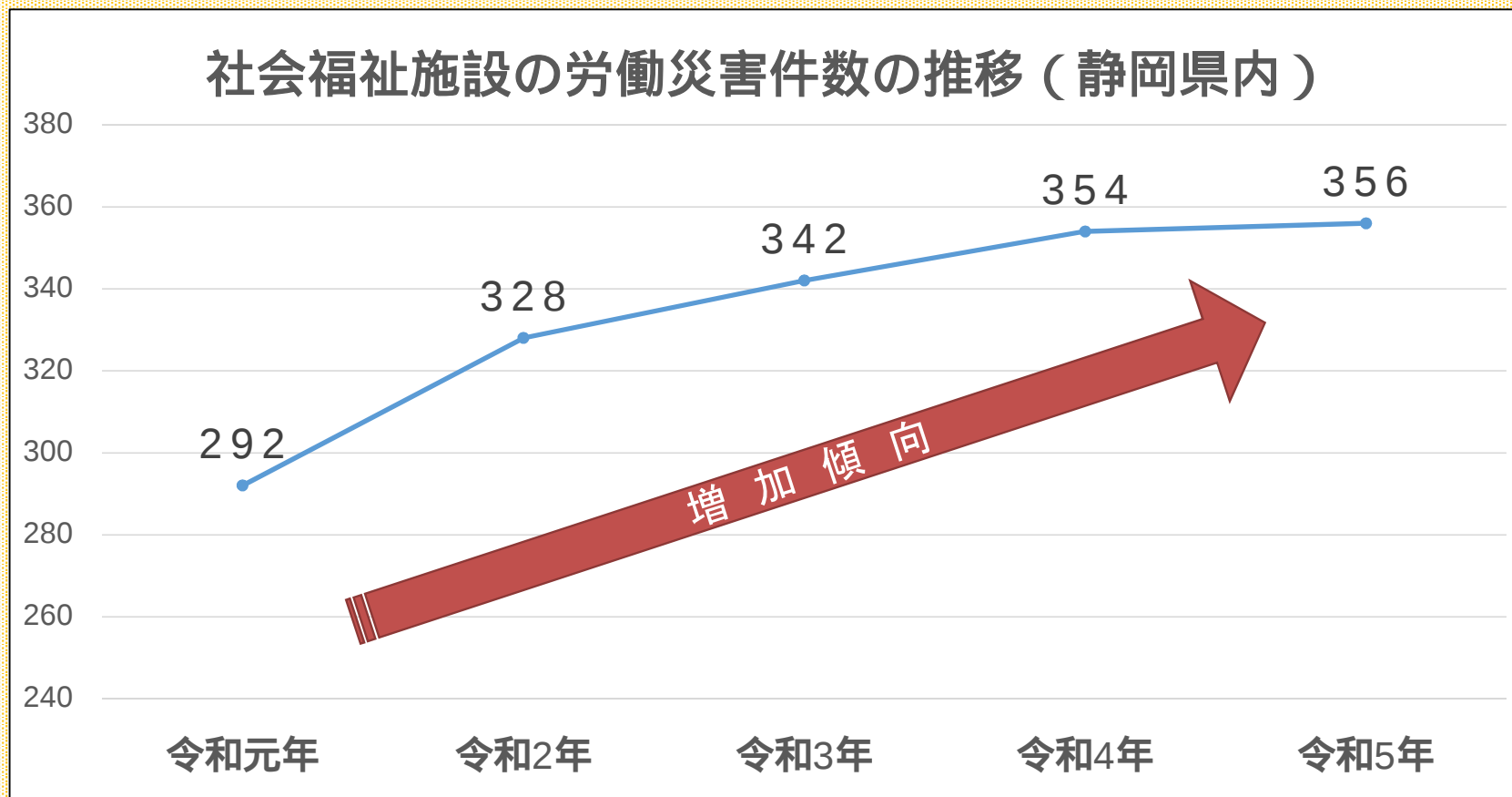


社会福祉施設の 労働災害防止について



静岡労働基準監督署 安全衛生課

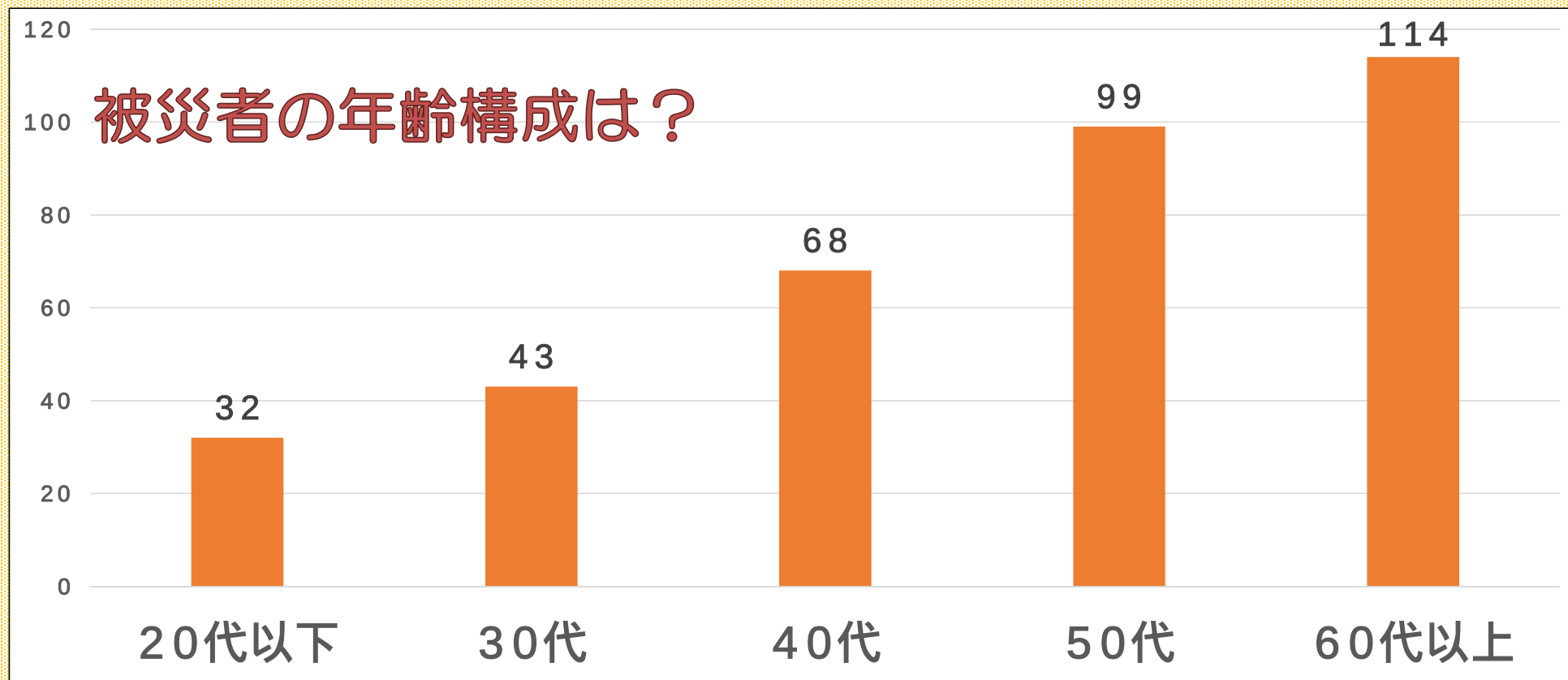
労働災害が急増しています



出典元：労働者死傷病報告

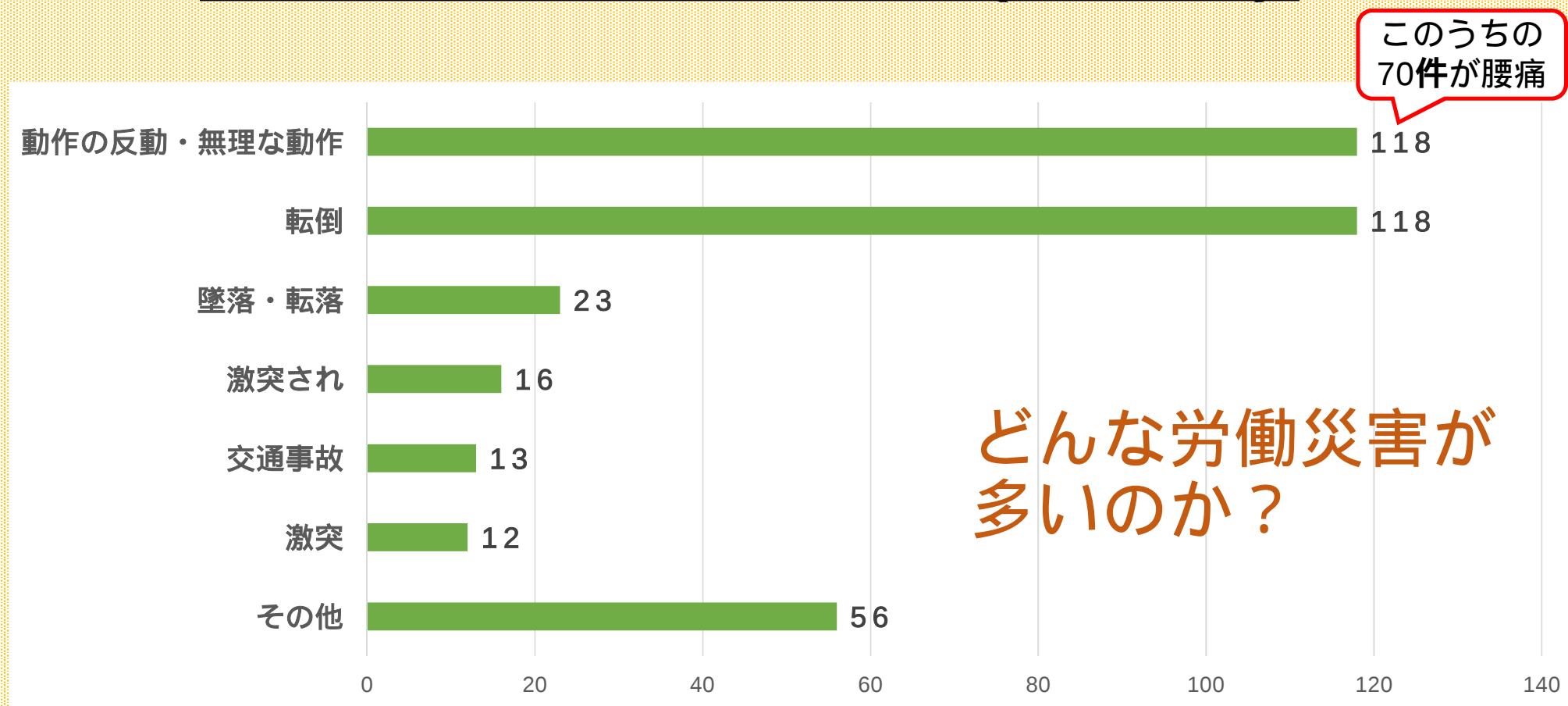
新型コロナウイルス感染症を除いた休業4日以上 の 件数

社会福祉施設労働災害発生件数（令和5年）



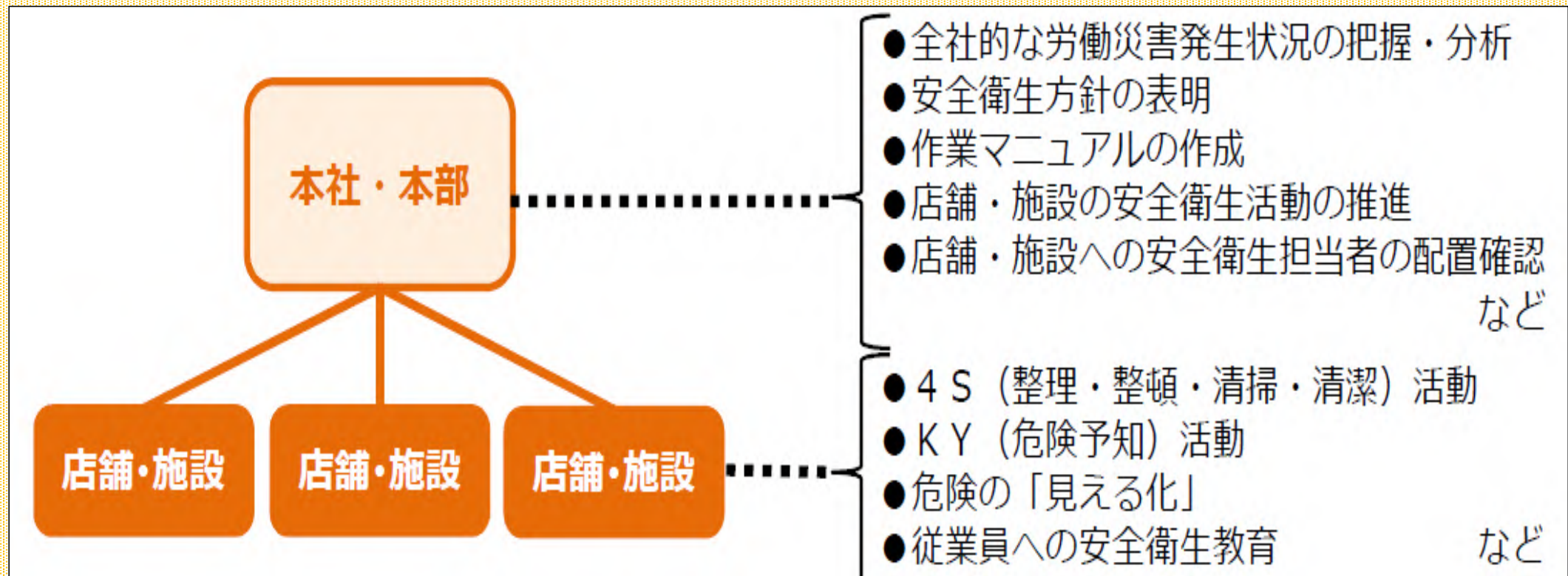
年代が上がるほど労働災害が増加する

事故の型別労働災害発生件数（令和5年）



動作の反動等（腰痛や捻挫など）、転倒が圧倒的に多い

労働災害を防止するための取り組みとは？

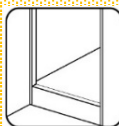


転倒災害を防止しましょう

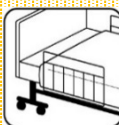
「つまづき」による転倒災害の原因と対策



何もないところでつまずいて転倒、足がもつれて転倒
転倒や怪我をしにくい身体づくりのための運動プログラム等の導入
走らせない、急がせない仕組みづくり



通路の段差につまずいて転倒
事業場内の通路の段差の解消、「見える化」
送迎先・訪問先での段差等による転倒防止の注意喚起



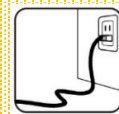
設備、家具などに足を引っかけて転倒
設備、家具等の角の「見える化」



利用者の車椅子、シルバーカー、杖などにつまずいて転倒
介助の周辺動作のときも焦らせない
介助のあとは“一呼吸置いて”から別の作業へ



作業場や通路以外の障害物（車止めなど）につまずいて転倒
適切な通路の設定
敷地内駐車場の車止めの「見える化」



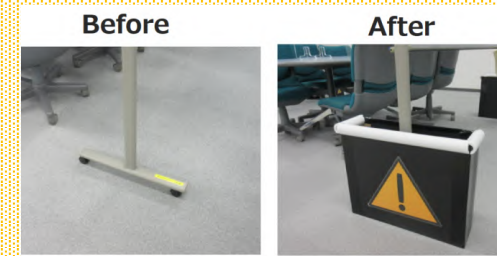
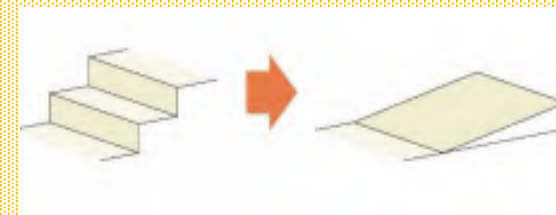
コードなどにつまずいて転倒
労働者や利用者の転倒原因とならないよう、電気コード等の引き回しのルールを設定し、労働者に徹底させる



職場3分
エクササイズ



中央労働災害
防止協会
転倒予防セミナー



転倒災害を防止しましょう

「滑り」による転倒災害の原因と対策



凍結した通路等で滑って転倒

従業員用通路の除雪・融雪。凍結しやすい箇所には融雪マットを設置する



浴室等の水場で滑って転倒

防滑床材の導入、摩耗している場合は施工し直す

滑りにくい履き物を使用させる

脱衣所等隣接エリアまで濡れないよう処置



こぼれていた水、洗剤、油等（人為的なもの）により滑って転倒

水、洗剤、油等がこぼれていることのない状態を維持する。

（清掃中エリアの立入禁止、清掃後乾いた状態を確認してからの開放）



雨で濡れた通路等で滑って転倒

雨天時に滑りやすい敷地内の場所を確認し、防滑処置等の対策を行う

送迎・訪問先での濡れた場所での転倒防止の注意喚起

高年齢労働者の労働災害防止のために設備改善等を行う場合、中小企業事業者は「エイジフレンドリー補助金」の対象となります。

エイジフレンドリー補助金
についてはこちら



静岡労働局では「ぬかづけ運動」を実施しています

このリーフレットは、
静岡労働局HPからダウンロード
できます。

「静岡労働局 ぬかづけ運動」
で検索！

職場の安全対策を！ 静岡労働局 転倒災害を防ぎましょう

「静岡労働局 ぬかづけ運動」実施中！

転倒災害を防止しよう！

ぬれた場所
かいだん
づけ
運動

床の水たまりや水、油、粉類
など危険な状態をみつけ、対
策を講じていますか？

階段や段差のある場所など、
転倒リスクの高い箇所に対
して対策を講じていますか？

身の回りの整理整頓など、
日々、作業者への意識づけ、
教育などを行っていますか？

ストレッチや転倒予防体操な
ど運動を行って、転倒しにく
い体づくりに努めましょう！

静岡県内における労働災害（令和5年 4,576件）

転倒 1,191件
転倒 全体の 26%

その他 1,458件
はさまれ・巻き込まれ 568件
運動の反動・無理な動作 644件

静岡県内では、平成21(2009)年から連続し、転倒災害が「事故の型」ワーストワンとなっ
ています。転倒災害を少しでも減らすため「静岡労働局ぬかづけ運動」を展開しています。

静岡県内における令和5年の転倒災害1,191件の内訳

女性が約6割

女性 711件
男性 480件

女性の年代別

10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代
5件 34件 40件 75件 197件 248件 112件

8割以上が40代以上

女性の休業期間別

6月～4日～1週 13件
3～6月 86件
1～3月 321件
2週～1月 162件
1週～2週 91件

約6割が休業1月以上

転倒災害の約6割が女性で、内8割以上が40代以上であり、約6割が休業1月以上となっています。

Column エコール10mgを12ヶ月摂取すると骨密度の減少率を抑えられたというデータがあります。女性ホルモンに似た働きをする成分「エクオール」とは、エクオールとは、大豆イソフラボン的一种であるダイゼインが腸内細菌によって代謝され生まれる成分です。このエクオールこそが、エストロゲンと似た働きをすることがわかっています。ただしエクオールを作れる人の割合は、日本人で約5割といわれています。若い年代の人では20～30%の人しか作れません。エクオールを作れる人でも、大豆食品の摂取を心がけ、体内にエクオールがある状態を保てるようにサプリメントなどから摂取することをオススメします。

更年期にさしかかると骨量は急速に減少

エクオールが骨密度の減少を42%抑制

10月10日は『転倒予防』の日

○中央労働災害防止協会「STOP！転倒災害プロジェクト」
<https://www.jeha.or.jp/campaign/tenjoku/index.html>

○一般社団法人 日本転倒予防学会 <http://www.tenjokushou.jp/>

※転倒リスクの高い場所をわかりやすく「ぬかづけ」と記載したのは「日本転倒予防学会」の協賛事業 武藤和氏です。

静岡労働局 労働基準部 健康安全課
静岡市葵区湯子町9-50 静岡地方合同庁舎3階 TEL 054-254-6314 FAX 054-254-6315

静岡労働局と大塚製薬は包括連携協定を締結し、働く女性の健康増進を推進しています。

動作の反動・無理な動作（腰痛）による災害を防止しましょう

この事例集は、
厚生労働省HPからダウンロードできます。

URL
<https://www.mhlw.go.jp/content/11300000/001103533.pdf>



静岡労働局における施策について

静岡県介護施設SAFE協議会の設置

近年、社会福祉施設において、労働災害が増加傾向にあり、その状況に歯止めをかけるべく、令和4年度より、県内の介護施設を運営する法人や、静岡県をはじめとした地方公共団体等を構成員とした**SAFE協議会**を設置し、協議を行い、周知・啓発資料の作成等の活動を進めています。

「SAFE」とは**Safer Action For Employees**（従業員の幸せのための安全アクションを推進する活動体の名称です）。



令和5年度に開催した協議会の様子



静岡県介護施設SAFE協議会の活動等については、こちら



https://jsite.mhlw.go.jp/s_hizuoka-roudoukyoku/newpage_00408.html



まとめ

- 社会福祉施設では、労働災害が急増しています。
本部においては運営施設の労働災害の状況把握をお願いします。
- 施設においては、特に腰痛や転倒など作業行動に起因する労働災害防止の取り組みを実践しましょう。
- 利用者に安全・安心・快適な環境を提供するためには、施設で働く方の安全や健康を保つことが大切です。